

# 親子聖書日課

NO.1607 2019.7/14-20

名前

[日]レビ人の仕事は目立ちませんが、この働きがなければ、祭司は献げ物はできませんでした。教会も目立たない奉仕がきちんと行われてこそ、豊かな礼拝が捧げられます。意味のない奉仕は一つもありません。どんな奉仕も喜んでみましょう。

[月]祭司は24組に分かれ、半年に一度の割合で、一週間交代で務めました。しかし、年3回の大きな集会の時は、全員で奉仕します。今日の祭司である私達も同じです。小さい事は当番に任せ、大きい事は全員で奉仕し、神のために働きましょう。

[火]聖歌隊は賛美するだけではありません。美しい歌声に乗せ、預言するのです。そのために訓練を受け、技量認定試験(8節のくじ)がありました。聖歌隊には子供もいました。クリスチャンホームが総出で賛美の奉仕ができる、素晴らしい証です。

[水]門衛が「奉仕にふさわしい力を持つ勇者達であった」ように、教会に仕える牧師、信徒もそんな勇者でありたいです。そのためには御言葉と祈りによって、霊の力を頂くことです。主の力を頂くなら、人々を救いの門に導くことができますでしょう。

[木]ダビデの軍隊は一分団24,000人で、12分団にかけて国民を守りました。兵隊全体の正確な編成と指導者の任命、仕事の割り当てがなされました。私達も主の兵士として、きちんとした役割分担を決めて、リーダーである主に従いましょう。

[金]主に任せるとは、無計画に行き当たりばつりの歩みをするとは違います。与えられた人材、賜物を調べ、確認し、それを正しく整えることです。そこから主の奇跡は起こります。小さな事でも疎かにしないで、忠実に管理することが大切です。

[土]主は「全き心と喜びの魂をもってその神に仕える」ことを願っています。それは100%献げ尽くした心と、いやいやながらではなく、心から喜び仕える心です。「福音のために私はどんなことでもする」との賛美のように、率先して行いましょう。



	聖書	問題	答え
日	歴代誌上 23:1-32	毎朝、夕べに、主に何と何をすべきですか。	
月	24:1-31	祭司達はアロンによって伝えられた何に従って神殿に入りましたか。	
火	25:1-31	主に向かって歌をうたうために、何を受けましたか。	
水	26:1-28	オベド・エドムの子らは奉仕に何を持つ勇者でしたか。	
木	26:29- 27:15	一組ずつに何人いましたか。	
金	27:16-34	主がイスラエルを何のように数多くしますか。	
土	28:1-21	何事を果たすにも、どんな働き人がすっかりそろっていましたか。	
感想と祈りの課題			